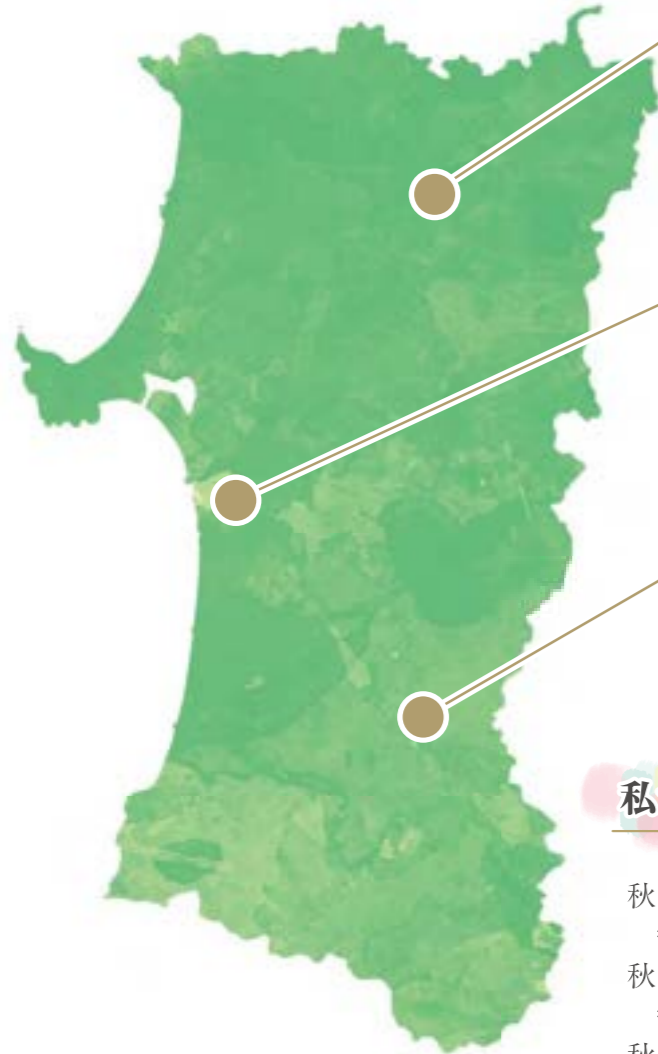


## 秋田県の男女共同参画センター



### 秋田県北部男女共同参画センター

〒017-0842  
秋田県大館市字馬喰町48-1  
TEL. 0186-49-8552  
FAX. 0186-49-8589

### 秋田県中央男女共同参画センター

〒010-0001  
秋田県秋田市中通2-3-8 アトリオン6F・7F  
TEL. 018-836-7853  
FAX. 018-836-7854

### 秋田県南部男女共同参画センター

〒013-0046  
秋田県横手市神明町1-9  
TEL. 0182-33-7018  
FAX. 0182-33-7038

私たちが男女共同参画センターを運営しています。

秋田県北部男女共同参画センター  
= 特定非営利活動法人秋田県北エヌピーオー支援センター  
秋田県中央男女共同参画センター  
= NPO法人いきいきFネット秋田  
秋田県南部男女共同参画センター  
= 特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター

## 全国女性会館協議会全国大会in秋田 実行委員会名簿

実行委員長	野口 聡子
副委員長	中鉢 美之、井上 博子、松坂 憲男
監事	熊谷 直一
委員	安田 美紀、ミハイロヴァ・アンナ、石黒 かほる、阿部 由布子 高山 万紀子、庄内 公子、堀井 里子、近藤 正、原田 すみれ 大城 舞未加 NPO法人いきいきFネット秋田 理事 職員

お問合せ

**NPO法人いきいきFネット秋田**  
(秋田県中央男女共同参画センター指定管理者)

〒010-0001 秋田県秋田市中通2-3-8  
✉: akitawmc@alpha.ocn.ne.jp

電話: 018-836-7853

FAX: 018-836-7854

[大会ホームページ] <https://65.akita.space>



秋田県 次代の女性リーダー応援事業

秋田から発信!あなたも次代のリーダーを目指しましょう!

特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

## 第65回 全国大会 in 秋田

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# ジェンダー平等を 目指して

参加費  
無料

オンライン  
参加可

～ 誰一人取り残さない社会とは? ～

2021年

**11月5日金/6日土**

**会場**

秋田県総合生活文化会館

**アトリオン**

秋田県秋田市中通2-3-8

4F 音楽ホール

6F 秋田県中央男女共同参画センター

[主催] 特定非営利活動法人全国女性会館協議会、NPO法人いきいきFネット秋田、秋田県  
[共催] 公益財団法人秋田県女性会館、JICA東北センター  
[協力] 全国女性会館協議会全国大会in秋田実行委員会、中央男女共同参画センター  
利用者懇談会、特定非営利活動法人秋田県北エヌピーオー支援センター、  
特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター、あきたF・F推進員(個人)  
[協賛] 日本テトラパック株式会社  
[後援] 秋田市、公益財団法人秋田観光コンベンション協会

ようこそ  
秋田へ



## ご挨拶



秋田県知事  
佐竹 敬久

本大会のテーマである「ジェンダー平等」を目指し、その最前線で活動されている皆様が集い、「全国女性会館協議会第65回全国大会 in 秋田」が開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により、全国各地から多くの皆様を本県にお迎えすることはできませんでしたが、開催に当たり、多大なご尽力を賜りました「特定非営利活動法人全国女性会館協議会」

及び「NPO法人いきいきFネット秋田」の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年3月に世界経済フォーラムが公表した日本の「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」は、156か国中120位と先進国の中でも極めて低い水準にあり、特に、女性管理職や女性議員の比率の低さに代表される「経済」及び「政治」の順位が低くなっており、

国では、昨年策定した「第5次男女共同参画基本計画」において、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会を目指すことを掲げ、政策・方針決定過程等への女性の参画拡大を推進するとともに、男女双方の意識改革と理解の促進や、地域における男女共同参画センターの機能強化などの取組を進めております。

本県においても、「一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる持続可能な活力ある社会の実現」に向けて、今年3月に令和7年度までの5年間を計画期間とする「第5次秋田県男女共同参画推進計画」を策定し、多様性に配慮しながら、固定的な性別役割分担意識の更なる解消に向けた取組のほか、女性の登用促進や多様で柔軟な働き方の導入など、女性が活躍し続けられる職場づくりを官民協働で進めているところであります。

また、この7月には、その推進役として、民間企業のトップを務め、男女共同参画等を進めてきた女性を理事に採用し、女性が生き生きと仕事にやりがいを持って暮らせる環境づくりを、加速させていくこととしております。

このような取組を進めている中で、本大会が、県の「次代の女性リーダー応援事業」の啓発イベントと共に開催されますことは誠に意義深く、ジェンダー平等社会の実現に向けて、政策・方針決定過程への女性参画等への理解を深められ、大きな成果を上げられますとともに、皆様が男女共同参画・女性活躍の推進を担うリーダーとして更に活躍され、あらゆる分野においてジェンダー・ギャップの解消が進むことを期待しております。

結びに、本大会の盛会と親睦の輪が更に広がることをお祈りいたしますとともに、皆様の一層のご活躍・ご発展を祈念申し上げます、挨拶といたします。



特定非営利活動法人全国女性会館協議会  
代表理事  
納米恵美子

特定非営利活動法人全国女性会館協議会  
第65回全国大会in秋田 開催にあたって

全国女性会館協議会は、男女共同参画センターがそれぞれの地域において、男女共同参画を推進していくための拠点施設としての役割を果たしていくために役立つ、各種研修、調査研究、情報提供・共有など

の事業を通じて、中間支援機関としての機能を担っています。

毎年1回、会員館が持ち回りで開催している大会は、男女共同参画に係る今日的テーマを掲げ、有識者による基調講演やパネルディスカッションを通じて参加者の皆さまと共に理解を深めると同時に、分科会においては、センター運営を通じて蓄積してきた事業のノウハウを交換し合う機会となっております。

第65回全国大会in秋田は、「ジェンダー平等を目指して～誰一人取り残さない社会とは?～」をテーマに掲げています。新型コロナウイルス感染症、頻発する大規模災害など、私たちを取り巻く状況は厳しいものがあります。そして、感染症や災害の影響はジェンダーによって異なっていることも明らかになっています。こうした状況においても、いえ、こうした状況だからこそ、第5次男女共同参画基本計画が掲げる「すべての女性が輝く令和の社会」を実現するために、ジェンダー平等へ向けた取組を一層、加速させることが必要とされています。女性リーダーを増やしていく、男性のケア・ワークへの積極的な参画促進、性暴力やドメスティック・バイオレンスの根絶、困難な状況にある女性への支援、女性の視点からの防災の取組、ジェンダー平等を阻害する意識の変革など、やるべきことは多数あります。

ジェンダー平等を実現するための取組を進めていく意欲を参加者同士でお互いに高めあい、それぞれの現場で実行可能なヒントを持ち帰ることができる、そんな大会にできればと思います。

最後になりますが、ご来賓として挨拶くださいました、林伴子内閣府男女共同参画局長、藤原章夫文部科学省総合教育政策局長、ご協賛くださいました日本テトラパック(株)をはじめ、関係各位に心から御礼を申し上げます。



NPO法人いきいきFネット秋田  
理事長  
佐藤加代子

全国女性会館協議会第65回全国大会が秋田で開催できますことを大変うれしく思います。秋田大会は平成4年以来、29年ぶりの大会となりました。

この度の全国大会のテーマは「ジェンダー平等を目指して～誰一人取り残さない社会とは?～」といたしました。国連が掲げるSDGs(持続可能な開発)#5には、「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等

とすべての女性のエンパワーメントを達成することを目指す」とあります。日本のジェンダーギャップ指数は2021年では世界156か国中120位であり、先進国の中で最下位です。特に経済及び政治の分野で順位が低くなっており、この分野における男女共同参画の推進が喫緊の課題です。

秋田大会では、女性が活躍できる環境を整備し、あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画を進めるための具体的な取り組みについて考えたいと思います。

さらに、男女共同参画センターは、男女共同参画社会推進の拠点施設として全国に存在しますが、秋田県内には県北、中央、県南3か所のセンターがあります。多発する災害やコロナ禍での社会の急激な変化の中で、その果たす役割と重要性は益々高まっていると感じております。

この大会を通じて、一人ひとりが大切にされるフェアな社会と男女共同参画センターのこれからの在り方を全国の皆様と共に考える機会にしたいと思っております。

大会開催にあたり、各団体、企業の皆様はじめ多くの方々からご協力、ご協賛を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。

## 全国女性会館協議会第15回事業企画大賞

### 発表・表彰・講評・大賞受賞者事業紹介



札幌市男女共同参画センター  
さっぽろ若年女性支援ネットワーク「Cloudy」



城陽市男女共同参画支援センター  
パープルリボンライブ&DVの素朴なギモン展



富山県民共生センター「サンフォルテ」  
女性のためのチャレンジ起業セミナー



吹田市立男女共同参画センター・デュオ  
デートDV予防啓発業務

授与者  
講評  
事業紹介  
副賞

特定非営利活動法人全国女性会館協議会 代表理事 納米恵美子  
審査委員長 近藤 正  
札幌男女共同参画センター  
全国大会ご協賛 日本テトラパック株式会社

第1日 11/5(金) プログラム

会場:アトリオン4F 音楽ホール

- 11:30~ **開場、受付開始** ウェルカム・ステージ「劇団わらび座」
- 12:30~ **開会行事**  
 主催者挨拶:秋田県知事  
 特定非営利活動法人全国女性会館協議会  
 NPO法人いきいきFネット秋田  
 来賓挨拶:内閣府男女共同参画局長(予定)  
 文部科学省総合教育政策局長(予定)  
 事業企画大賞(発表・表彰・講評)
- 13:45~ **特別講演**  
 「日本社会の未来創造  
 -政策・方針決定過程における女性参画の真の意味-」  
 [講師] モンテ・カセム氏 (公立大学法人国際教養大学理事長・学長)
- 14:30~ **基調講演**  
 「チェンジメーカーになろう  
 ~女性(わたし)達の選択で未来は変わる~」  
 [講師] 麓 幸子氏 (作家、ジャーナリスト、元日経ウーマン編集長)
- 15:30~ **パネルディスカッション**  
 「あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画をすすめるために」  
 [コーディネーター] 麓 幸子氏  
 [パネリスト] 鈴木 真実氏 (秋田県議会議員)  
 能登 祐子氏 (能代市自治会連合協議会 会長)  
 藤村 幸氏 (株健康米味楽農場 代表取締役)  
 陶山 さなえ氏 (秋田県理事)
- 17:00 第1日目閉会

第2日 11/6(土) プログラム

- 9:30~ **開場、受付開始**
- 10:00~ **分科会(3会場)**  
**第1会場** 会場:アトリオン7F 研修室  
 ユース世代から発信!私たちが考えるジェンダー平等社会  
 ~世代間アプローチとセンターでの学びの実践について~
- 第2会場** 会場:アトリオン7F 研修室  
 コロナ禍で苦境にある女性への支援  
 ~相談支援の実際とセンターの役割について~
- 第3会場** 会場:アトリオン6F オープンスペース  
 これからのセンターのあり方を考える
- 12:00~ 全体会(分科会報告、次回開催について)
- 12:30 閉会



展示

- 『**アートで見る性差別社会**』(絵画) 大城 舞未加 氏(公立大学法人国際教養大学)
- 『**あなたの「性差にまつわる差別の経験」を聞かせてください**』(アート作品) 阿部 由布子 氏(造形作家、秋田公立美術大学助教)  
 田村 萌絵 氏(作家、秋田公立美術大学美術学部2020年卒)
- 『**高校生が考える多様性社会とジェンダー**』(2019年英語スピーチコンテスト発表作品) 能代松陽高校卒業生

特別講演

「日本社会の未来創造

-政策・方針決定過程における女性参画の真の意味-



講師

公立大学法人 国際教養大学 理事長・学長  
**モンテ・カセム氏**

1947年スリランカ民主社会主義共和国コロンボ生まれ。1970年スリランカ大学自然科学部建築学科卒業。一般財団法人日本地域開発センター研究員・コーディネーター、マレーシアサイエンス大学講師、大学院設立委員会秘書、三井建設株式会社設計部(建築士)、国際連合地域開発センター(UNCRD)主任研究員、立命館大学教授、立命館アジア太平洋大学学長、学校法人立命館副総長、学校法人立命館総長特別補佐、学校法人立命館理事、公立大学法人国際教養大学理事、大学院大学至善館学長、理事、教授を経て2021年6月より公立大学法人国際教養大学 理事長・学長に就任。  
 2016年瑞宝中綬章・2017年スリランカ政府・国民英雄称号授与。

基調講演

「チェンジメーカーになろう ~女性達の選択で未来は変わる~」



講師

作家、ジャーナリスト、元日経ウーマン編集長  
**麓 幸子氏**

1962年大館市生まれ。1984年筑波大学卒業。同年日経BP入社。日経ウーマン編集長、日経執行役員を経て2019年退社。同年帰郷。秋田県大館市を拠点に活動する。地元の2つの企業の取締役他、東証2部上場企業であるユービーアール株式会社社外取締役に就任。文部科学省、内閣府、林野庁、経団連21世紀政策研究所等の委員、筑波大学非常勤講師を歴任。  
 著書に『イマドキ女性管理職の働き方』『地方を変える女性たち』『女性活躍の教科書』他多数。

パネルディスカッション

「あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画をすすめるために」

コーディネーター

麓 幸子氏

パネリスト



**鈴木 真実 氏**

南秋田郡井川町生まれ。秋田高校卒業。1981年秋田県庁に入庁。広報、マスコミ対応、障害福祉、青少年育成、消費者啓発、農業振興、商業・サービス産業振興など、多様な分野を経験し、少子化対策推進監、被災者受入支援室長、広報広聴課長、自治研修所長を歴任。2019年1月に秋田県庁退職。2019年4月秋田県議会議員初当選。現在は、秋田県議会議員、自民党秋田県連女性局長。



**藤村 幸 氏**

秋田市生まれ。アパレル業界から転身、干拓地「大潟村」に就農して20年。家族経営の専業農家から2018年農業法人を設立し、大規模農場で稲作に取組んでいる。スマート農業を取り入れ、大手企業や県と一緒に商品開発をし、企業、教育に活かしているような活動を展開中。その他にも野菜ソムリエ、防災士、大潟村ジオパークガイド等で活躍中。また、これまでにNHK東北番組審査審議員元委員長も歴任。



**能登 祐子 氏**

能代市自治会連合会協議会会長。平成16年度から能代市初の女性自治会長に就任し、除排雪組織、自主防災組織を構築する。その他、カフェやレンタルスペース等の複合的コミュニティー施設「夢咲く工房 咲く咲く」の運営や、民・官・学で組織する「のしろ白神ネットワーク」代表を務める。また、地産地消、安全な食の推進、女性活躍の場の構築などを目指し「ときめき工房ねま〜る」で農業生産者と共に活動中。平成25年、内閣府男女共同「女性チャレンジ賞」受賞。



**陶山 さなえ 氏**

1979年安田火災海上保険(現損害保険ジャパン株式会社)に一般職として入社。1983年に出産し、当時の所属部署で初めて産休を取得。2006年に課長、2010年に女性初の医療保険サービスセンター部長、2013年に女性初の執行役員に就任。2017年グループ初の女性社長としてSOMPO企業保険金サポート株式会社社長に就任。2019年SOMPOコミュニケーションズ株式会社社長。2021年7月秋田県初の女性理事就任。

分科会

定員 会場参加 各 25名 / オンライン参加 各 25名

- ①「ユース世代から発信!私たちが考えるジェンダー平等社会 ~世代間アプローチとセンターでの学びの実践について~」  
 … ワークショップ「安心して見られるCMルールブックを作ろう」(会場参加は25歳以下限定)
- ②「コロナ禍で苦境にある女性への支援 ~相談支援の実際とセンターの役割について~」  
 … 事例報告 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
- ③「これからのセンターのあり方を考える」  
 … 地域における男女共同参画の拠点施設として、これからの社会のセンターについて考える